

平成25年度 決算

はじめに

9月議会定例会で認定された決算は、平成25年4月1日から平成26年3月31日までの歳入及び歳出決算です。地方公共団体は地方自治法によりその内容を、町



福島県および日赤の補助金を活用して整備した「くにももたん広場」

民の皆さんにお知らせすることになっていきます。決算に表れる数字からは、その年度内に町がどんな仕事をし、いくらお金がかかったかを読み取ることができます。また、これらの動向や財政の状況を示す指標としても、大切な役割を担っています。町が行う仕事は、住民福祉の向上や産業・教育・文化の振興、道水路や施設等の社会基盤の整備等多岐にわたっています。これら通常の業務に関して処理するものを一般会計、国民健康保険や介護保険等の特定の目的のため一般会計とは区別して別個に処理するものを特別会計といえます。

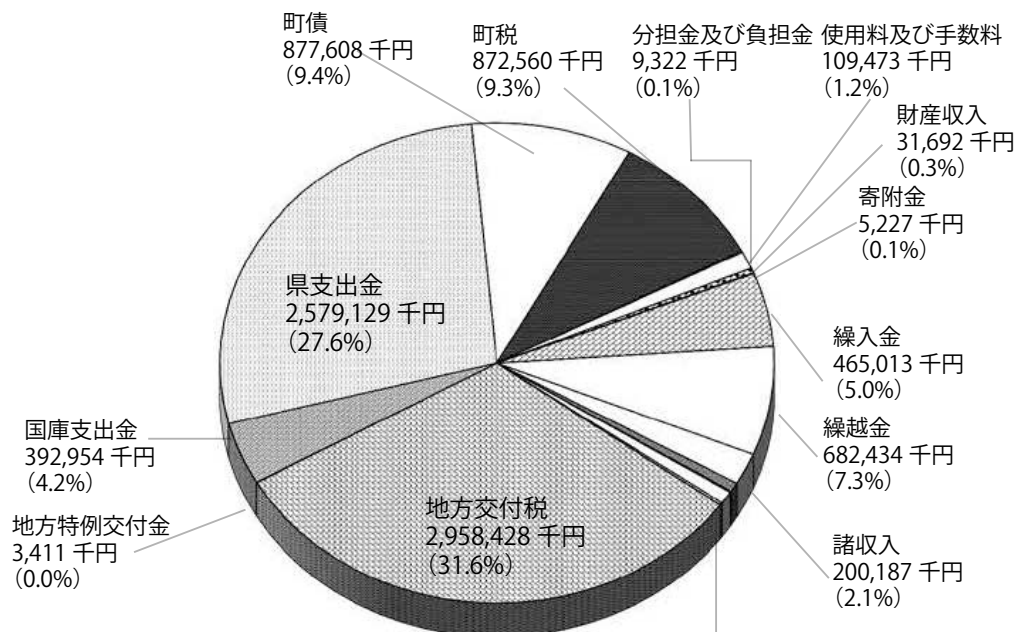
平成25年度の一般会計決算は、歳入93億4,981万円（前年度比37.4%増）、歳出86億9,841万円（前年度比42.0%増）、歳入歳出差引額（形式収支）6億5,140万円の黒字となりました。決算規模は24年度と比較すると歳入歳出ともに25億円強の増加となり、過去最大規模になりました。これは、原発事故による住宅除染、仮置場整備費と震災で被災した庁舎建設工事費の増が主なものです。なお、歳出決算額を「通常事業」と「復旧復興事業」の2種類に大別すると、通常事業46億5,213万1千円（53.5%）、復旧復興事業40億4,627万9千円（46.5%）になりました。26年度への繰越明許費、事故繰越しおよび通次繰越（庁舎建設事業、道の駅整備事業、除染対策事業等）のうち、一般財源で措置する額は3億5,295万4千

一般会計決算

円となり、これを歳入歳出差し引額から差し引いた2億9,844万6千円が実質収支決算額（黒字決算）となりました。さらに前年度実質収支額5億3,893万5千円を差し引いた単年度収支額△2億4,048万9千円

に、黒字要素（財政調整基金積立額1億32万8千円および町債繰上償還額2億1,295万4千円）や赤字要素（財政調整基金取崩額2億3,293万5千円）を加減した実質単年度収支額は、△1億6,014万2千円の赤字となりましたが、これは震災で被災した庁舎建設工事に伴う特殊事情によるものです。

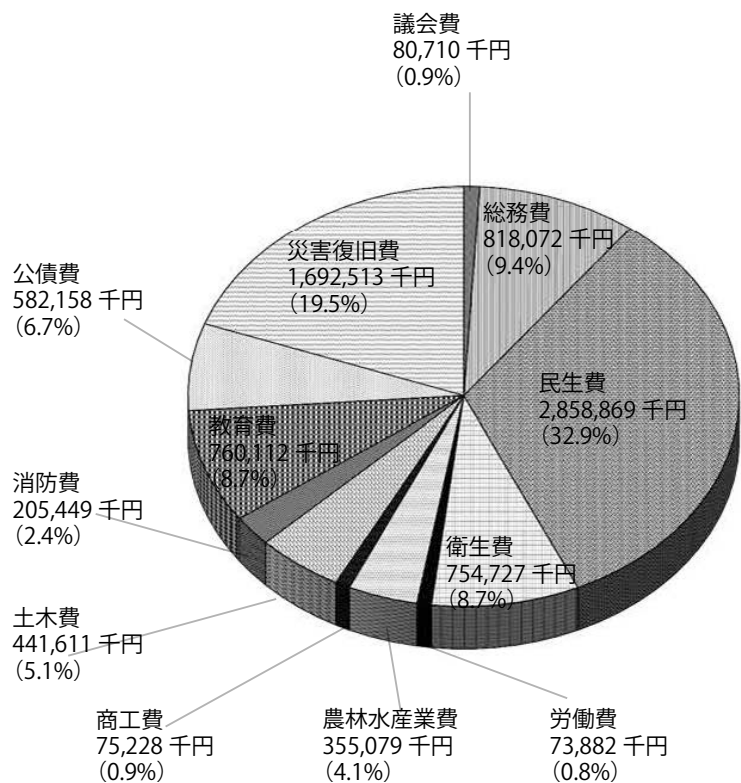
《歳入 93 億 4,981 万円》



地方譲与税 57,815千円 (0.6%)、利子割交付金 1,996千円 (0.0%)、配当割交付金 2,606千円 (0.0%)、株式等譲渡所得割交付金 3,512千円 (0.0%)、地方消費税交付金 79,339千円 (0.8%)、自動車取得税交付金 15,864千円 (0.2%)、交通安全対策特別交付金 1,240千円 (0.0%)

一般会計の歳入で最も高い31.6%を占める地方交付税は、県や市町村が一定の行政水準を保つため、地方の固有の財源として国から交付されるもので、その財源には所得税や法人税・酒税等が充てられています。次に多いのが県支出金27.6%（うち除染対策事業交付金21.5%）で、補助対象事業ごとに制度に基づき申請し交付を受けています。3番目は、各種事業の財源として借入れた町債で9.4%を占めています。町債は後年度にその元利償還金の一部が地方交付税として交付されるものを活用し、町の財政負担の軽減を図っています。4番目は、町民税や固定資産税、軽自動車税、たばこ税など町民の皆さんに納めていただいた町税で9.3%を占めています。歳入の内訳表（グラフ）は右記のとおりです。

《歳出 86 億 9,841 万円》



歳出の内訳は、割合の多い順に、民生費、災害復旧費、総務費、教育費、衛生費、公債費、土木費、農林水産業費、消防費、議会費、商工費、労働費となり、総額では平成24年度に比較して42.0%の増となりました。

民生費は、全体の32.9%を占め、児童や老人福祉等の経費以外に17億6千万円強の災害救助費（民地の除染経費）も含まれています。災害復旧費は、東日本大震災で被災した庁舎建設事業13億円強が計上され、大幅な増加となりました。また、人事や企画、税務事務等に係る総務費、社会教育施設の改修等に係る教育費、保健衛生対策や伊達地方衛生処理組合負担金および公立藤田病院負担金等の経費を含む衛生費も大きな割合を占めています。

今後も数年間は、復旧復興に向けた各種事業の展開（特に除染事業）により、決算規模が増加することが予想されます。歳出の内訳表（グラフ）は左記のとおりです。

なお、歳出については、性質別（人件費、物件費、扶助費、補助費等、普通建設事業費、公債費等）にも分けられます。

《歳出決算額の推移》

年度	歳出決算額（うち復旧復興分）
平成21年度	4,120,057千円（0千円）
平成22年度	4,314,731千円（0千円）
平成23年度	6,161,851千円（1,538,912千円）
平成24年度	6,124,153千円（1,751,309千円）
平成25年度	8,698,410千円（4,046,279千円）

《一般会計決算収支の状況》

①歳入	93億4,981万0千円
②歳出	86億9,841万0千円
③差引（①－②）	6億5,140万0千円
④翌年度に繰越すべき財源	3億5,295万4千円
⑤実質収支（③－④）	2億9,844万6千円
⑥単年度収支（⑤－前年度実質収支）	△2億4,048万9千円
⑦町債繰上償還	2億1,295万4千円
⑧財政調整基金積立金	1億32万8千円
⑨財政調整基金取崩額	2億3,293万5千円
⑩実質単年度収支（⑥＋⑦＋⑧－⑨）	△1億6,014万2千円